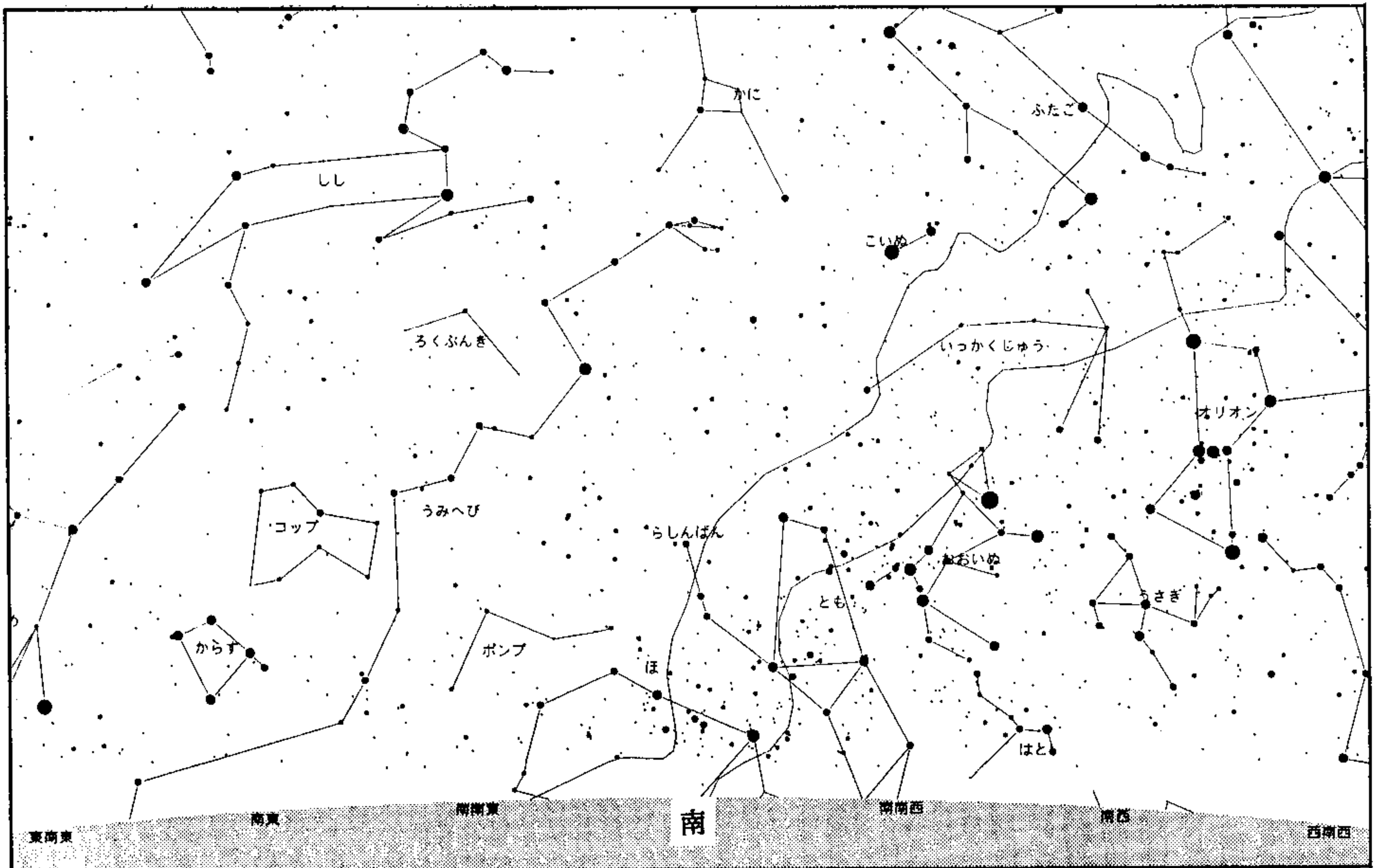


# プラネタリウムへようこそ！

入間市児童センター 2000年3月号



※上の星図は3/1の夜10時、3/15の夜9時、3/30の夜8時頃の星空です。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

==<プラネタリウムの話し>==

プラネタリウム (Planetarium) とは、プラネッツ (Planets=惑星) の動きを表現する機械という意味です。現在のプラネタリウムは、一晩の星空や季節による星座の移り変わり、その他いろいろな天体現象を投影する装置という意味で使われています。

「プラネタリウム」の原形は、ドイツの光学機器メーカー、によって制作され、1925年には現在の基本形が誕生しています。この装置には星々を投影するために、数百枚のレンズ、200枚近くの歯車、そして、90個のランプを組み込んだ装置でした。

==<プラネタリウム新番組>==

『マジカル宇宙パワー！！』3月18日(土)より投影開始。宇宙一のスペースコメディです。プラネタリウムで笑おう！

====<惑星>====

【水星】3月になると明け方の東天に移り29日に西方最大離隔になります。児童センター天文台では2月5日(土)西空にある水星を観測することができました。

【金星】明けの明星として、日の出前の東天低く見ることができます。

【木星】夕方の西空で最も輝く惑星です。

【土星】木星の東に1等星で輝きます。